

# IT・エレクトロニクス 技術戦略シンポジウム2012 —10年後の実世界をイノベートするICTエレクトロニクス—

■主催：(社)電子情報技術産業協会 知的基盤部会

■担当部署：技術戦略委員会

■参加者数：171名

## 概要

「IT・エレクトロニクス技術戦略シンポジウム」は、科学技術開発の重要性を広く公表することを目的に、技術戦略委員会にて企画し、毎年恒例の公開講演会として開催しております。今回は、「10年後の実世界をイノベートするICTエレクトロニクス」と題して、経済産業省の政策の紹介をはじめ、各分野において第一線で活躍している有識者にご講演頂きました。

我が国のIT・エレクトロニクス産業を取り巻く環境は、歴史的な円高や高い法人税等、依然として厳しい状況に置かれています。このような中、産業競争力強化に不可欠な先端研究開発の促進のため、技術戦略委員会では将来の事業化を睨みつつ、「10年後の実世界をイノベートするICTエレクトロニクス」として、4つの分野（①ヘルス、②一次産業、③都市・モビリティ、④人間社会）の研究開発の重要性をまとめました。この報告書は今回のシンポジウムで限定配布の上、紹介致しました。

当シンポジウムを企画した技術戦略委員会の代表、須藤亮委員長（株東芝／執行役専務）からのご挨拶の後、基調講演として経済産業省／商務情報政策局の中山亨審議官より、これまでのイノベーション関連施策と今後の課題・方向性・取組みについて、また我が国の研究開発拠点の在り方について、ご講演頂きました。（株アクアビット／田中栄氏からは、これからの世の中での予測と共に、クラウドコンピューティングにより様々

な商品の概念が大きく変わることも、また「コンピューティング」はまだ20年の歴史（1歳のようなもの）、これからまだまだ大いに期待が持てる、とのお話を頂きました。

（株）ソニーコンピュータサイエンス研究所／桜田一洋氏からは、基礎生物学と臨床診療に存在するギャップを克服するために必要なヘルスケアの開発の必要性、そのためのICTの重要性について、大変興味深いお話を頂きました。（株）日立製作所／角本喜紀氏からは、都市が抱える課題、スマートシティのコンセプト・フレームワーク、都市マネジメントインフラに必要とされる機能、スマートシティにおける標準化活動などの紹介を頂き、富士通（株）／若林毅氏からは、食・農分野の抱える課題と、クラウドを活用した「見える化」「効率化」といった、取組み事例等のご紹介とこの分野の今後の期待についてご講演頂きました。最後に技術政策委員会委員長の荒川泰彦氏（東京大学／生産技術研究所教授）から総評として、講師の皆様に対するお礼の言葉と、我が国のエレクトロニクス産業の飛躍に向けた貢献に対する期待のお言葉を頂きました。

今回のシンポジウム資料集は、参加できなかった方のために有償頒布しております。またJEITAでは、今後も産業界発展に向けた有益な業界活動を実施していきたいと考えておりますので、企業の皆様の積極的なご提案・ご要望を賜りましたら幸いです。

## プログラム

【司会】近藤浩一氏（社電子情報技術産業協会 技術政策委員会副委員長〔株東芝 研究開発センター次長〕）

### ○開会の挨拶

須藤 亮氏（社電子情報技術産業協会 技術戦略委員会 委員長〔株東芝 執行役専務〕）

### ○基調講演：我が国の科学技術イノベーション政策について

中山 亨氏（経済産業省 商務情報政策局 審議官）

### ○JEITA「10年後の実世界をイノベートするICTエレクトロニクス」の紹介

中田登志之氏（社電子情報技術産業協会 技術政策委員会委員〔日本電気株 中央研究所主席技術主幹〕）

### ○未来予測2012-2025～これから「世の中」はどう変わるか～

田中 栄氏（株アクアビット 代表取締役 チーフ・ビジネス・プランナー）

### ○ICTを活用したヘルスケア産業の展望

桜田一洋氏（株ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー）

### ○ITを活用した社会インフラの展望

角本喜紀氏（株日立製作所 インフラシステム社 経営企画室研究開発企画部 担当部長）

### ○豊かな食の未来へICTで貢献

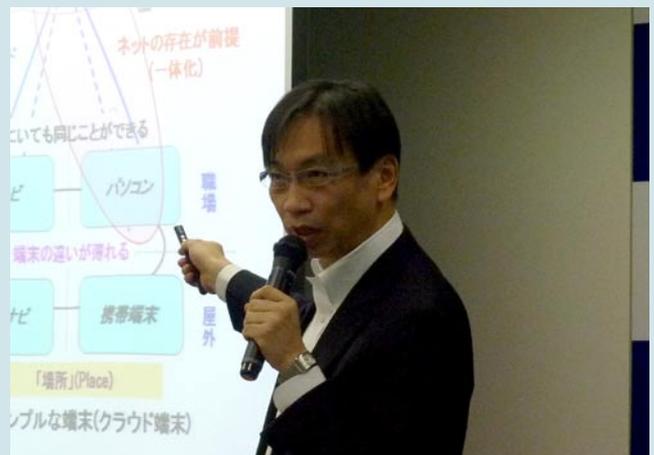
若林 毅氏（富士通株 ソーシャルクラウド事業開発室SVP）

### ○総評

荒川泰彦氏（社電子情報技術産業協会 技術政策委員会委員長〔東京大学 生産技術研究所 教授〕）



会場風景



（株）アクアビット 田中 栄氏